

⑫ 公開實用新案公報 (U)

平1-170103

⑤Int. Cl. \*

識別記号

庁内整理番号

④公開 平成1年(1989)12月1日

A 43 B 7/14  
13/14  
A 61 H 39/04

6617-4 F  
D-6617-4 F

F-7306-4C 審査請求 未請求 請求項の数 3 (全2頁)

⑤考案の名称 健康用履物

②実 願 昭63-64559

②出 願 昭63(1988)5月17日

⑦考 案 者 豊 田 泰 弘 大阪府東大阪市柏田西2丁目14-10

⑦出 願 人 株式会社三豊電器 大阪府東大阪市柏田西2丁目14-10

⑦代理人 弁理士 佐当 弥太郎

## ⑤⑦ 実用新案登録請求の範囲

① 足載せ部 c のかかと部 a を低く、足先部 b を高く、下肢後部の筋肉が緊張する程度に傾斜を保持するように形成した履物本体 1 において、土踏まずを押し上げる突起ユニット 8 を着脱自在に調節固定し得るごとくした健康用履物。

② 請求項①の履物本体 1 の調節孔 10 … に挿入  
固定する取付用足 9 を底面 12 に突設し、曲面  
部 7 に押圧用突状リブ 6' を設けた押圧用突起  
ユニット。

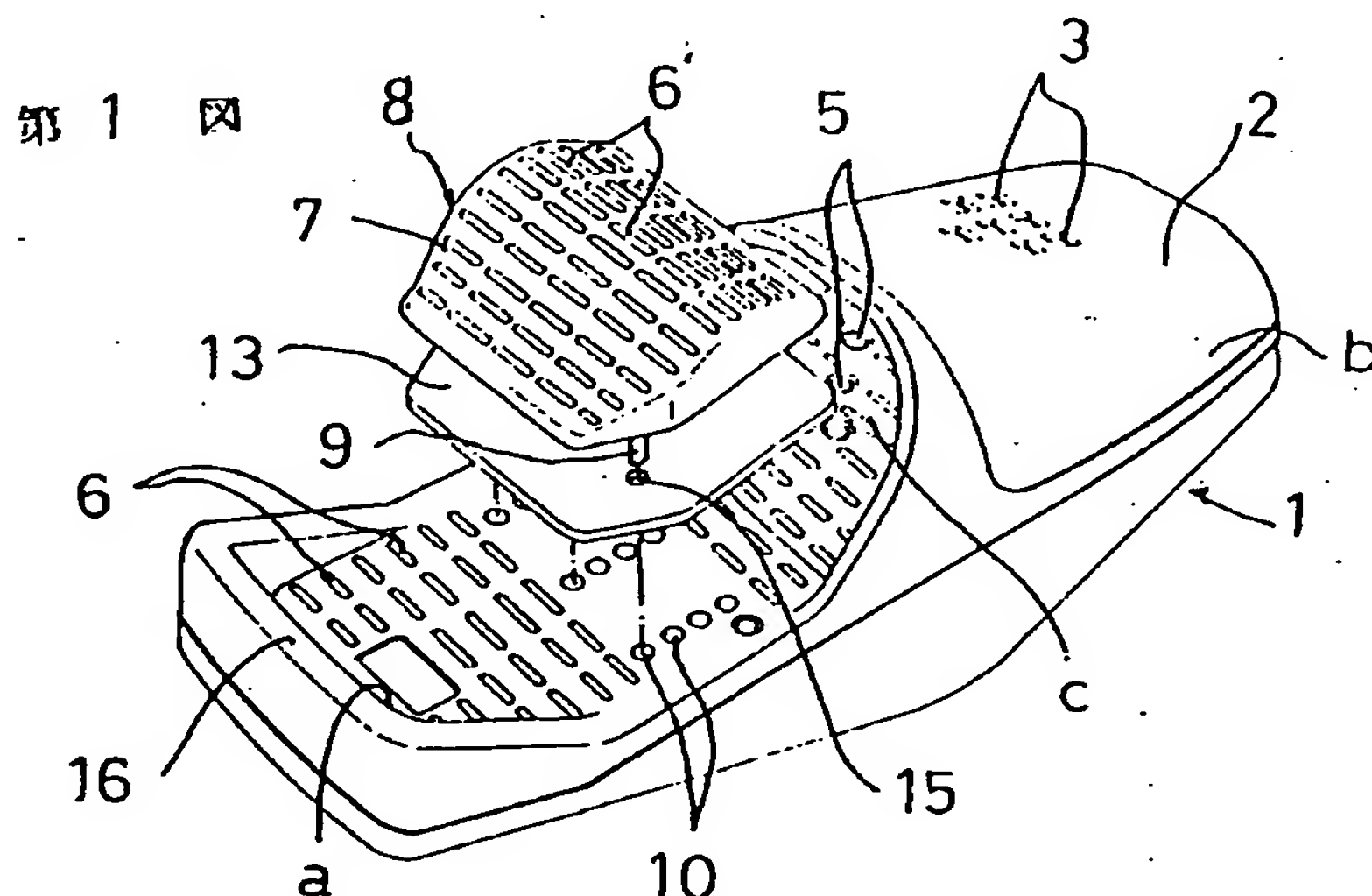
③ 請求項②の突起ユニット 8 の取付用足 9 を挿通する孔 15 を穿設して、突起ユニット 8 と履

物本体 1 の足載せ部 c との間に挟持されるスペーサ。

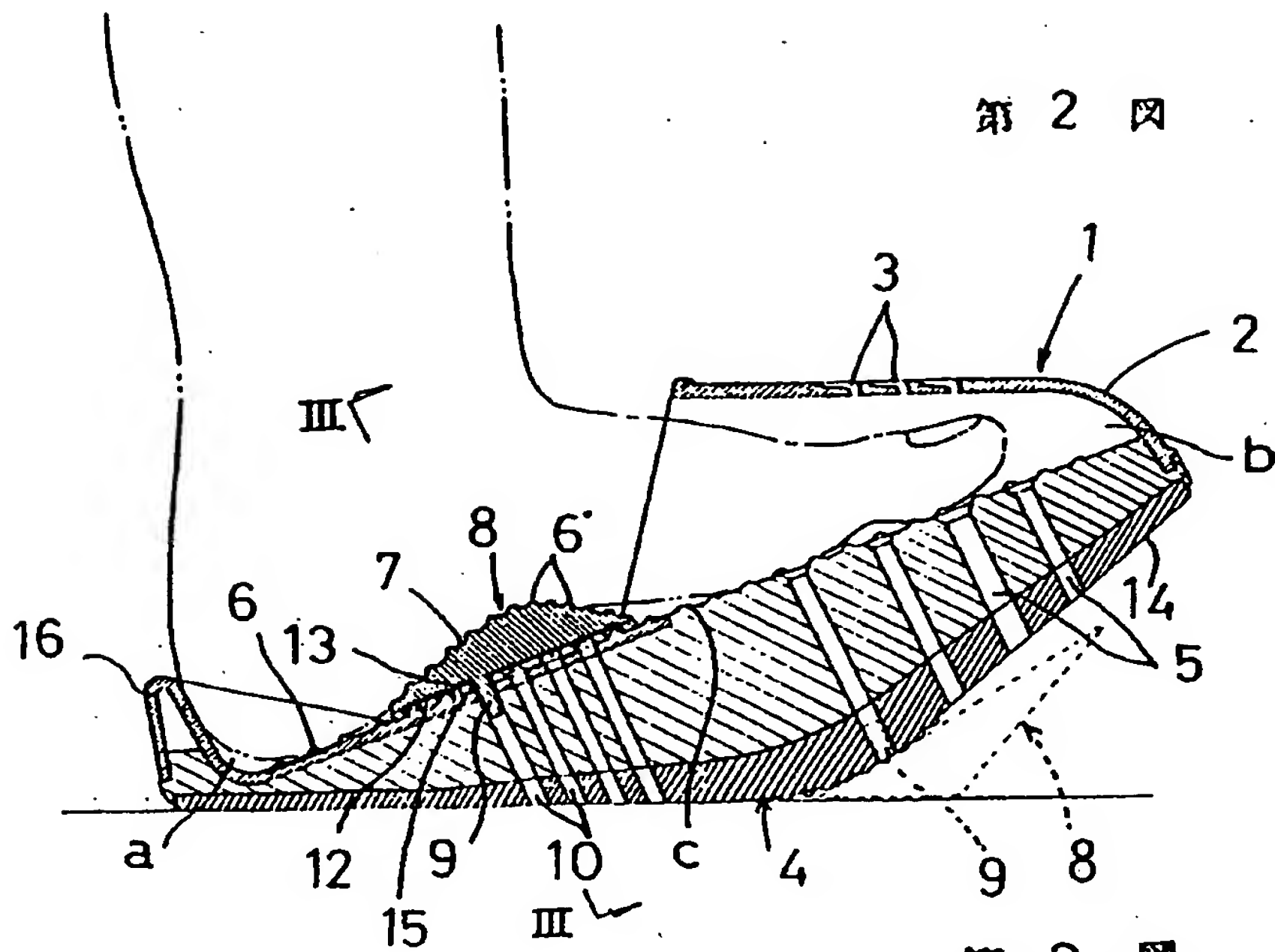
### 図面の簡単な説明

図中第 1 図は履物本体と突起ユニット及びスベーサの外観図、第 2 図は履物本体に足を載せた縦断面図、第 3 図は第 2 図における III—III 線断面図、第 4 図は本考案のシーソー式運動を示す図、第 5 図は本考案を水平にして使用する図である。

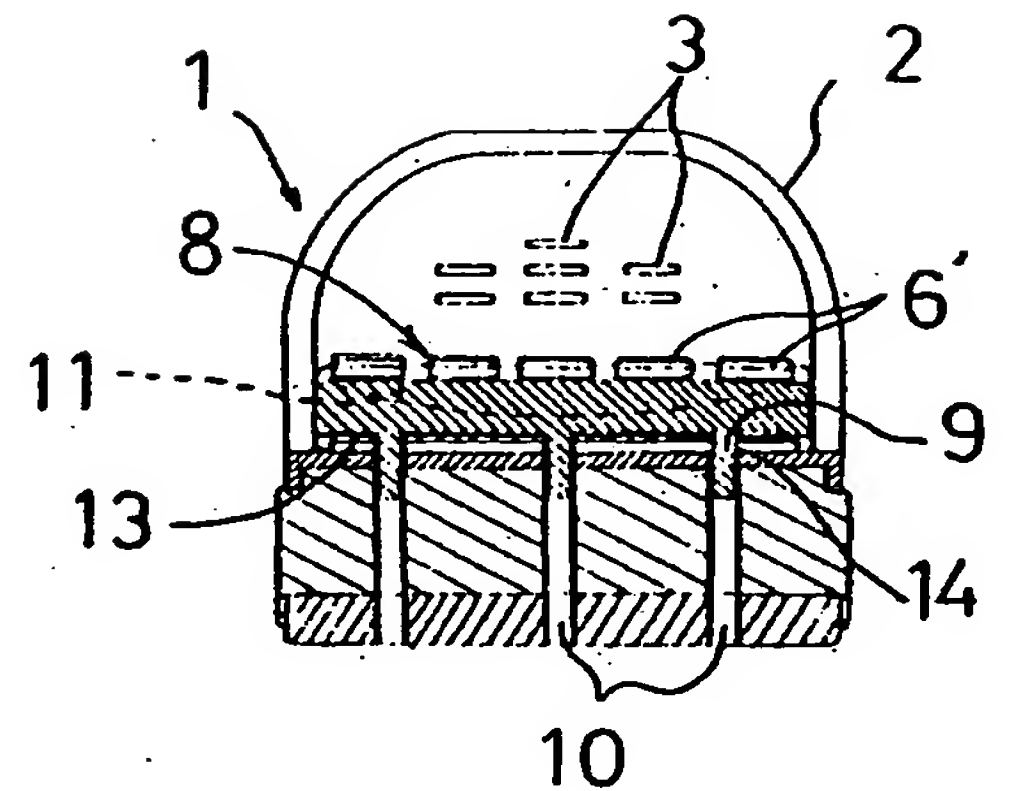
図中 1 は履物本体、6' は突状リブ、7 は曲面部、8 は突起ユニット、9 は取付用足、15 は孔、a はかかと部、b は足先部、c は足載せ部である。



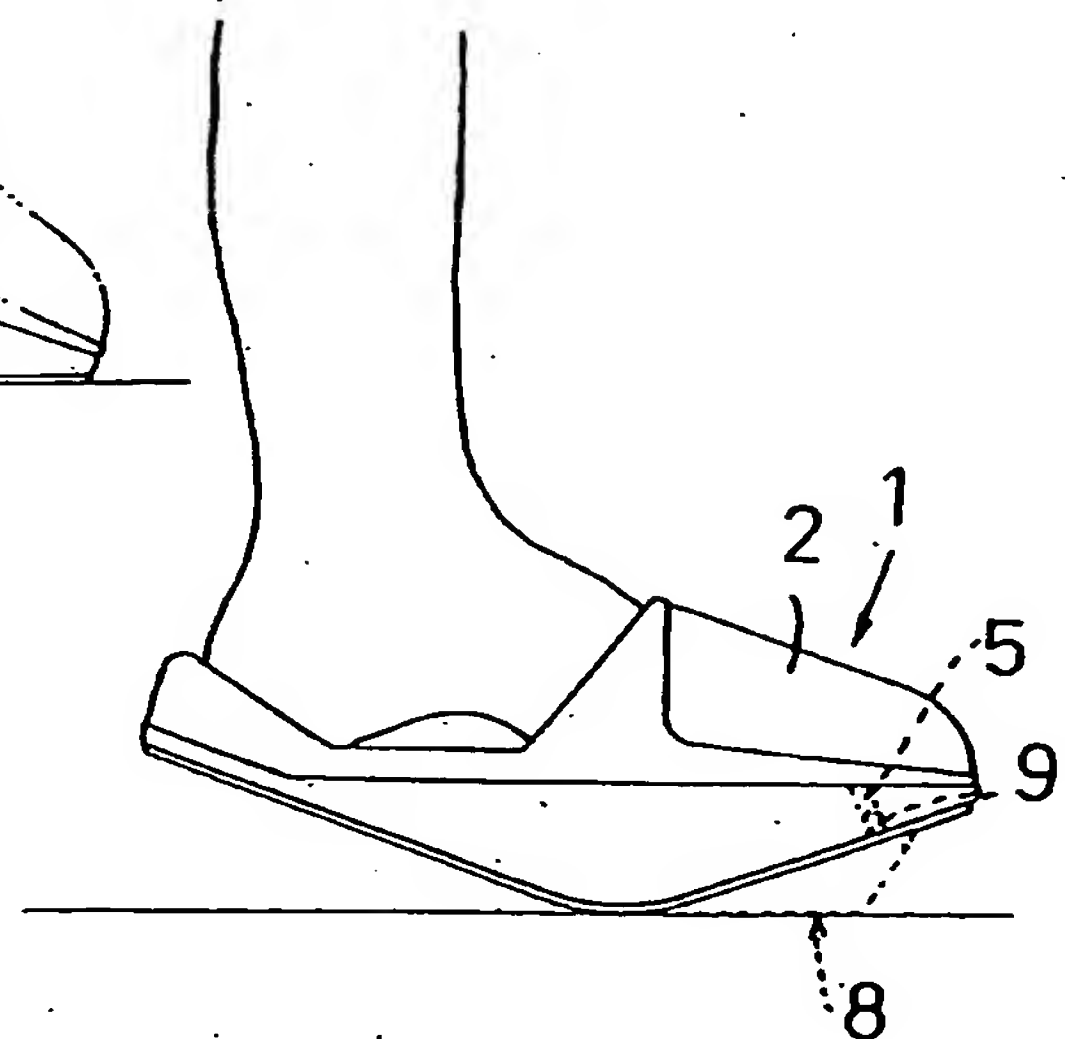
第 2 圖



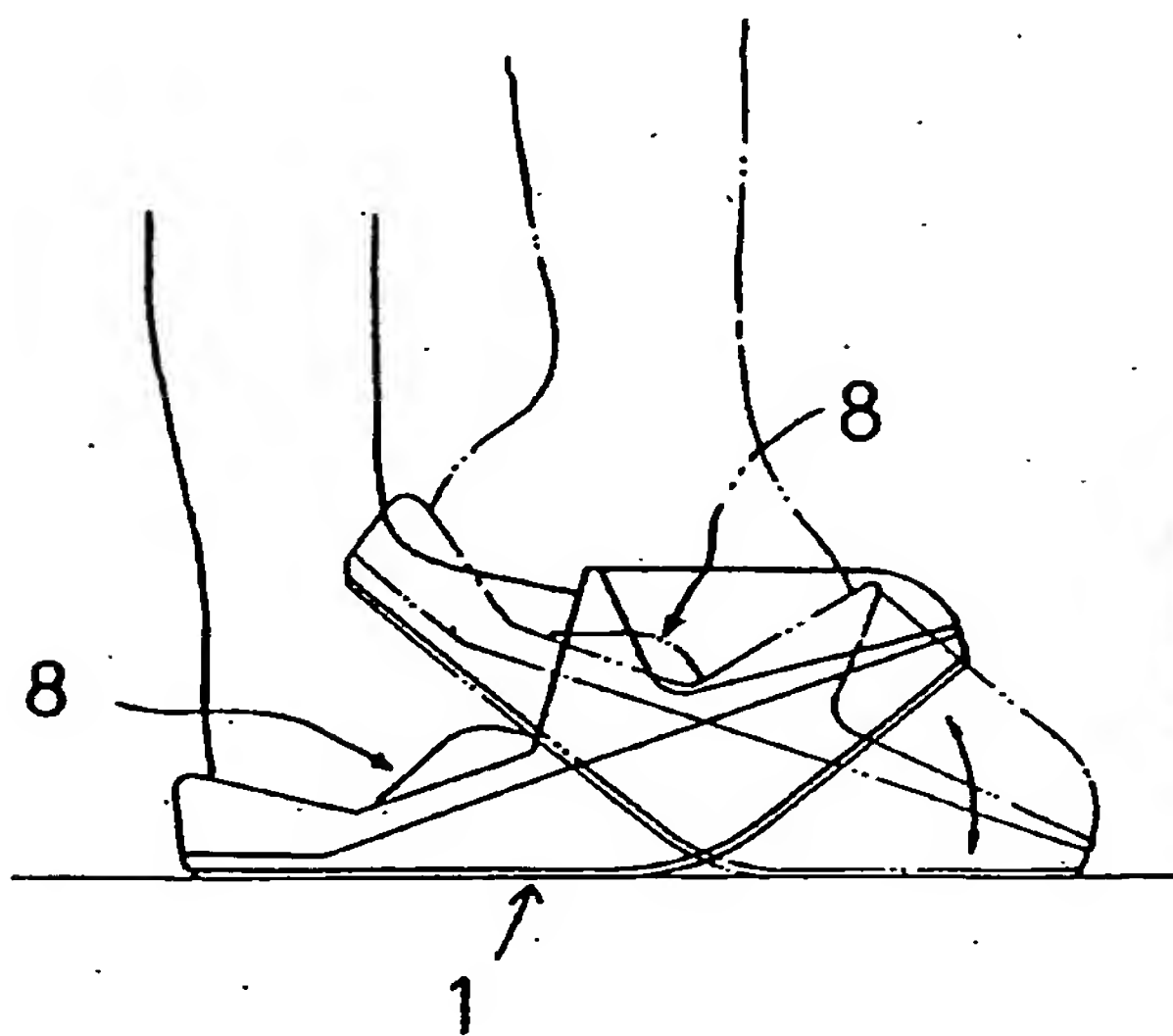
第 3 圖



第 5 図



## 第 4 网



# 公開実用平成 1-170103

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-170103

⑤ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)12月1日

A 43 B 7/14

6617-4F

13/14

D-6617-4F

A 61 H 39/04

F-7306-4C 審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 頁)

⑭ 考案の名称 健康用履物

⑮ 実 願 昭63-64559

⑯ 出 願 昭63(1988)5月17日

⑰ 考 案 者 豊 田 泰 弘 大阪府東大阪市柏田西2丁目14-10

⑱ 出 願 人 株式会社三豊電器 大阪府東大阪市柏田西2丁目14-10

⑲ 代 理 人 弁理士 佐当 弥太郎

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

健康用履物

### 2. 実用新案登録請求の範囲

- ① 足載せ部(c)のかかと部(a)を低く、足先部(b)を高くに、下肢後部の筋肉が緊張する程度に傾斜を保持するように形成した履物本体(1)において、土踏まずを押し上げる突起ユニット(8)を着脱自在に調節固定し得るごとくした健康用履物。
- ② 請求項①の履物本体(1)の調節孔(10)…に挿入固定する取付用足(9)を底面(12)に突設し、曲面部(7)に押圧用突状リブ(6')を設けた押圧用突起ユニット。
- ③ 請求項②の突起ユニット(8)の取付用足(9)を挿通する孔(15)を穿設して、突起ユニット(8)と履物本体(1)の足載せ部(c)との間に挟持されるスペーサ。

### 3. 考案の詳細な説明

#### < 産業上の利用分野 >

本考案は、大きさ、形状、つぼの位置等の異なる各人の足のつぼを正確に合致した位置において押圧指圧し得る健康用履物に関するものである。

#### < 従来技術 >

従来この健康用履物は、本件出願人の出願に係る実願昭62-74566号に開示されているように、足の裏の土踏まず等のつぼに相当すると思われる部分に、一定高さの突状突起を植設した指圧部を固定的に設けたものが存在する。

一般に、足の裏に存在する全身の諸器官と連繋して、押圧刺激によって回復する効果をあらしめるつぼは、狭い場所に集中しているので、刺激がつぼに正確に的中し難く、大人の場合で1cm狂うと指圧の効果が無いと言われているくらいである。

また、直立状態で足のかかとを中心にして、

足先を約30°持ち上げると下肢部のアキレス筋及びその上方でそれにつながる腓腹筋に、てこの原理で引っ張られて伸張する力が加わる。更に、足の裏の土踏まずのつばに圧力を加えると、所謂「竹踏み」と同様のつば指圧の刺激が加わって、足の筋肉等の疲労の軽減に効果がある。

＜考案が解決しようとする課題＞

従って、前記の従来構造の履物は、指圧部が固定的であるので、本体の寸法がつばの位置と正確に合致するのは特定寸法の少数の足の人に限定されてしまう欠点があった。

＜課題を解決するための手段＞

該目的を達成するための本考案の構成を、実施例に対応する第1図乃至第5図を用いて説明すると、本考案は履物本体(1)に複数個の調節孔(10)を並べて穿ち突起ユニット(8)の取付用足(9)を挿入して固定すると、足の土踏まずの部分を凸状部が下から押し上げ加圧する。そのとき突起ユニット(8)の位置は伸張の段階に応

じて、高さの異なる突起ユニット(8)につけ替え、また、任意の調節孔(10)に取付用足(9)を挿入することにより、取付位置と高さを調節することができる。

また、突起ユニット(8)と履物本体(1)の足載せ部(c)との間に厚さの異なるスペーサ(13)を挟むと、同様にアキレス腱の伸張作用の強弱を調節することができる構造としたものである。

#### ＜作用＞

このようにして足のサイズに応じて、突起ユニット(8)の取付用足を適宜の調節孔(10)に挿入すると、突起ユニット(8)は前後に移動して、調節して固定できる。

従って、老若男女、大小、左右、いかなるサイズの足にも合致して土踏まずのつぼを適確に押圧刺激する。

#### ＜実施例＞

以下本考案の実施例について図面に基づいて説明する。

図中第1図乃至第5図は、本考案の実施例を



示す図で、(1)は本考案健康履物の本体で、前方にフード(2)を取付けてあり、必要に応じて通風孔(3)を穿孔してある。更に、履物本体(1)の底部(4)にも通風孔(5)を貫通して設けておくと、空気の流通が良好になり、フード(2)内の足が蒸れるのを防止出来る。

後方部のかかと部(a)にかかとを止めるかかと止め部(16)がある。

第2図は本考案の実施例の履物本体(1)の断面図で、前方にフード(2)を備え、通風孔(3)を穿設してある。また、足載せ部(c)にリブ(6)を一面に突設して、足の裏のつばの刺激を強めるようになっている。

更に、足載せ部(c)の足の土踏まずに相当する部分に、突起ユニット(8)の取付用足(9)を挿入する調節孔(10)…を並べて設けてある。突起ユニット(8)はカマボコ形をなし曲面部(7)で土踏まずを押し上げて加圧し、更に曲面部(7)の表面にリブ(6')を突設して足の裏の細かいつばを押圧刺激する。



突起ユニット(8)の底面(12)には、取付用足(9)が立設してあり、突起ユニット(8)の取付用足(9)を適宜の調節孔(10)…に挿入することによって、突起ユニット(8)の取付位置を前後に調節して固定し得る。

更に、第2図に点線で示したように、本体(1)を傾斜したまま固定する時は、突起ユニット(8)の取付用孔(9)を、本体(1)の足先部(b)の裏面(14)に穿った、通風孔(5)のうち後方の孔に挿入して固定すると、本体(1)の足先を上にした通常姿勢で固定することができる。

以上本考案の突起ユニット(8)がカマボコ形のものの実施例について説明したが、第3図に点線で示したように中央部に凹部(11)を設けた鼓半截形でもよく、また病気の種類、指圧箇所等の必要に応じて変更でき、例えば両端を固く、中央を柔らかい材質で作成すること等ができる利便がある。

本考案の使用例として、第4図に示すように、立ったままで或いは椅子に座ったままで片足づ

つかかとを上げる運動を繰り返して、アキレス腱を伸展する訓練ができる。

また、第5図に示したように、極く初歩の人或いは反応の緩慢な人に対して、履物本体(1)の足載せ部(c)をできるだけ水平に保つように突起ユニット(8)の取付用足(9)を、本体(1)の裏面(14)の前方の足先部(b)の前方部の通風孔(5)に挿入固定して、かかとを上げて足載せ部(c)を水平に保持して足を馴らすことができる。

また、必要であれば、この姿勢で、更に足載せ部(c)の下に裏側から別の突起ユニット(8)を挿入すると、更に本体(1)が水平に安定する。

以上本考案の代表的と思われる実施例について説明したが、本考案は必ずしもこれらの実施例構造のみに限定されるものではなく、本考案にいう構成要件を備え、かつ本考案にいう目的を達成し、以下にいう効果を有する範囲内において適宜改変して実施することができるものである。

＜考案の効果＞

以上の説明から既に明らかなように本考案は、突起ユニットを除去した状態で最もシビアな条件でアキレス腱を伸縮運動をなし得るとともに、突起ユニットを取付位置自在に調節可能に本体の底面に取付孔を利用して取付用足を挿入して取付け固定し得るから、足のサイズが相異なる各人にそれぞれ適合した状態でアキレス腱の伸張が可能であるばかりでなく、足の裏のつぼの刺激も位置の寸分の狂いなく適確に行うことができるという実用上の顕著な効果を期待することができるに至ったのである。

#### 4. 図面の簡単な説明

図中第1図は履物本体と突起ユニット及びスペーサの外観図、第2図は履物本体に足を載せた縦断面図、第3図は第2図におけるⅢ—Ⅲ線断面図、第4図は本考案のシーソー式運動を示す図、第5図は本考案を水平にして使用する図である。

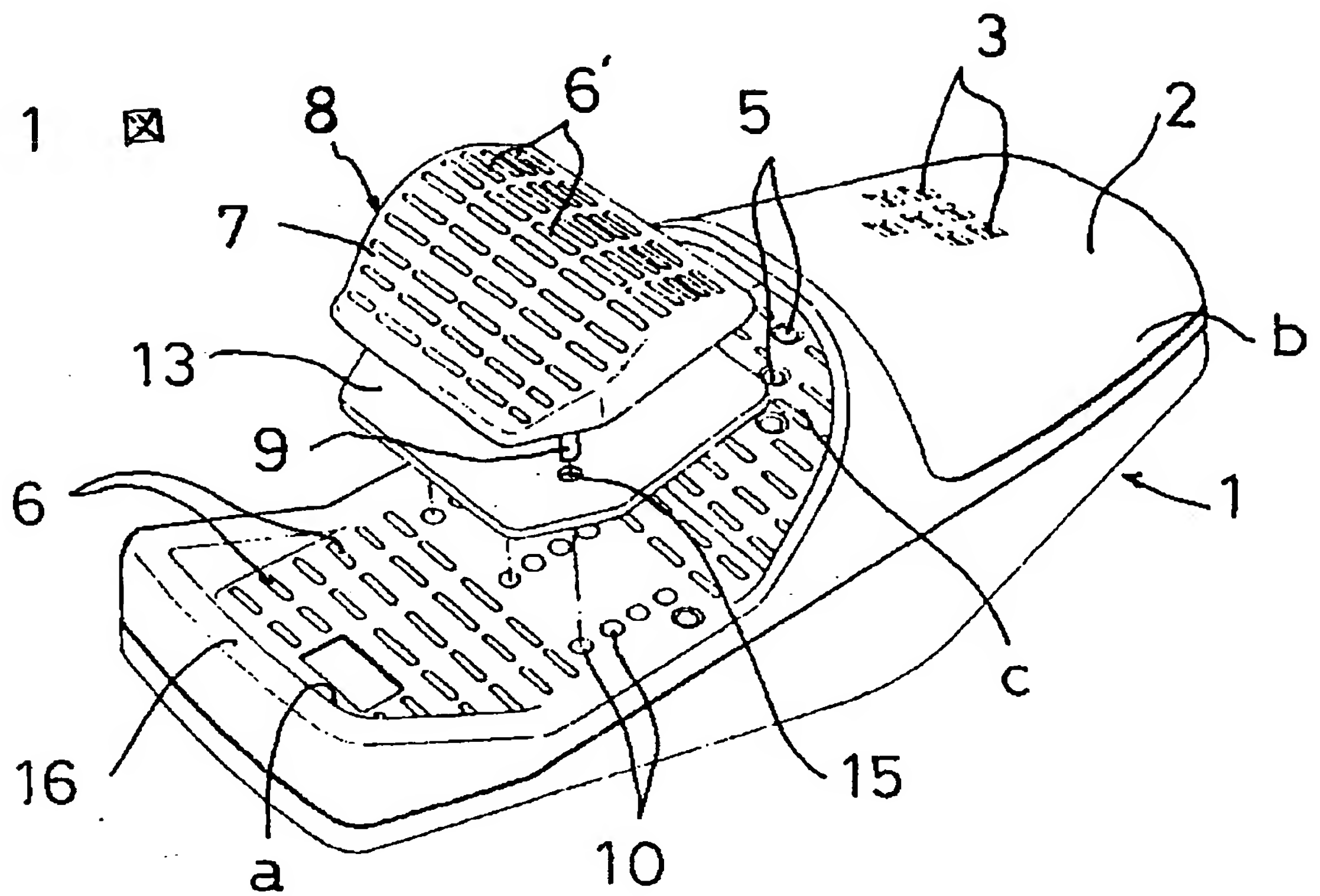
図中(1)は履物本体、(6')は突状リブ、(7)は

曲面部、(8)は突起ユニット、(9)は取付用足、  
(15)は孔、(a)はかかと部、(b)は足先部、(c)  
は足載せ部である。

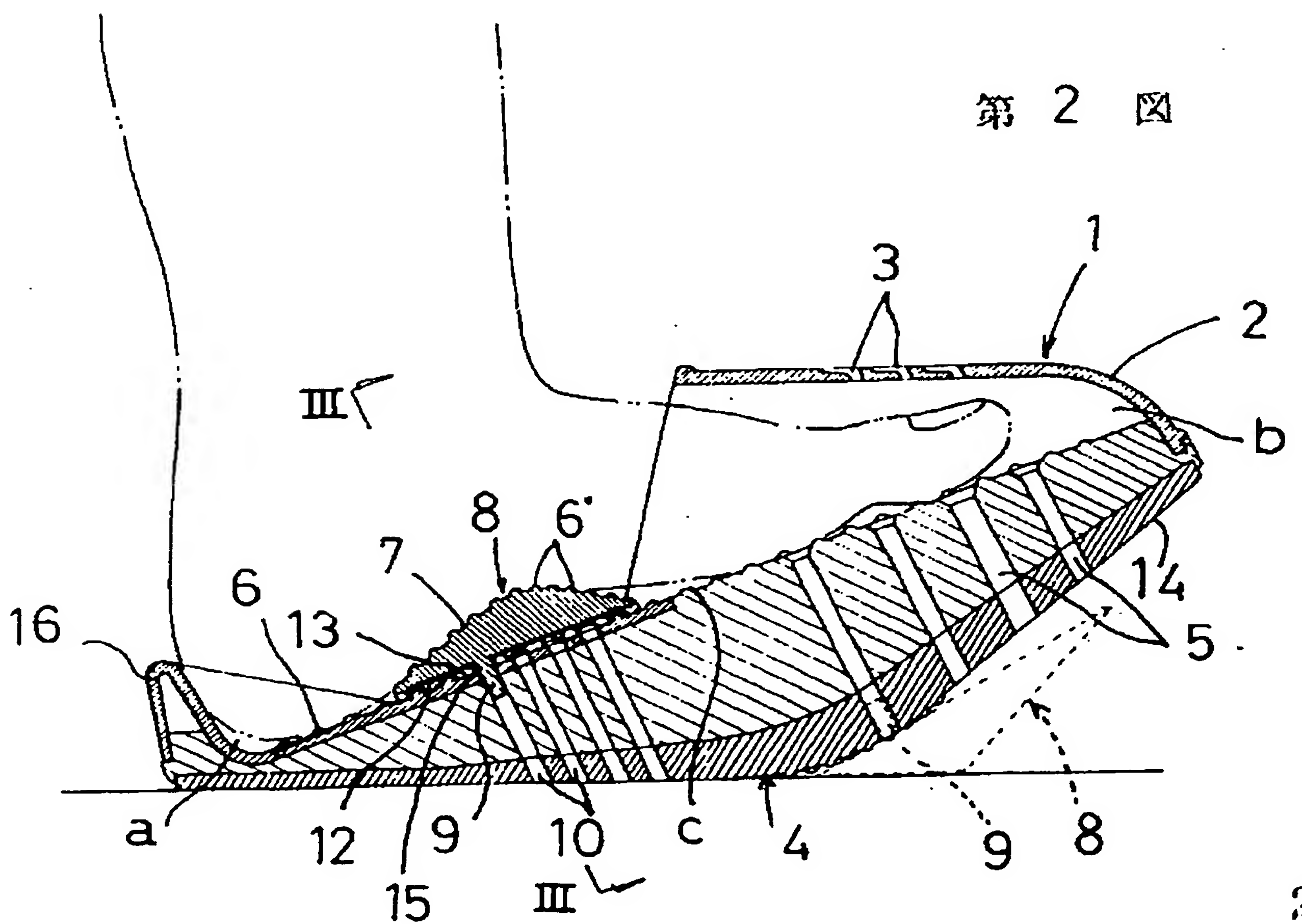
代理人 弁理士 佐 當 彌 太 郎



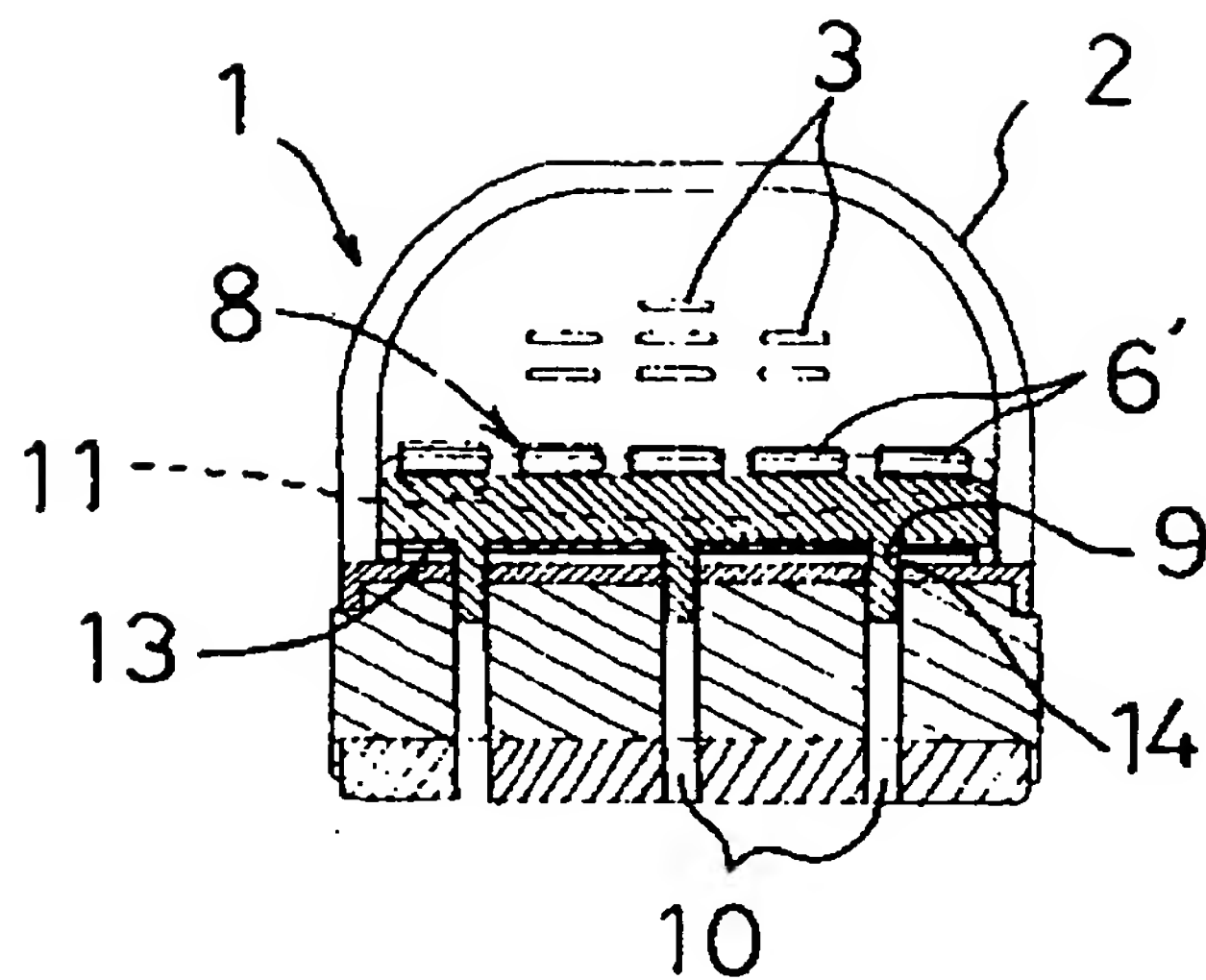
第 1 図



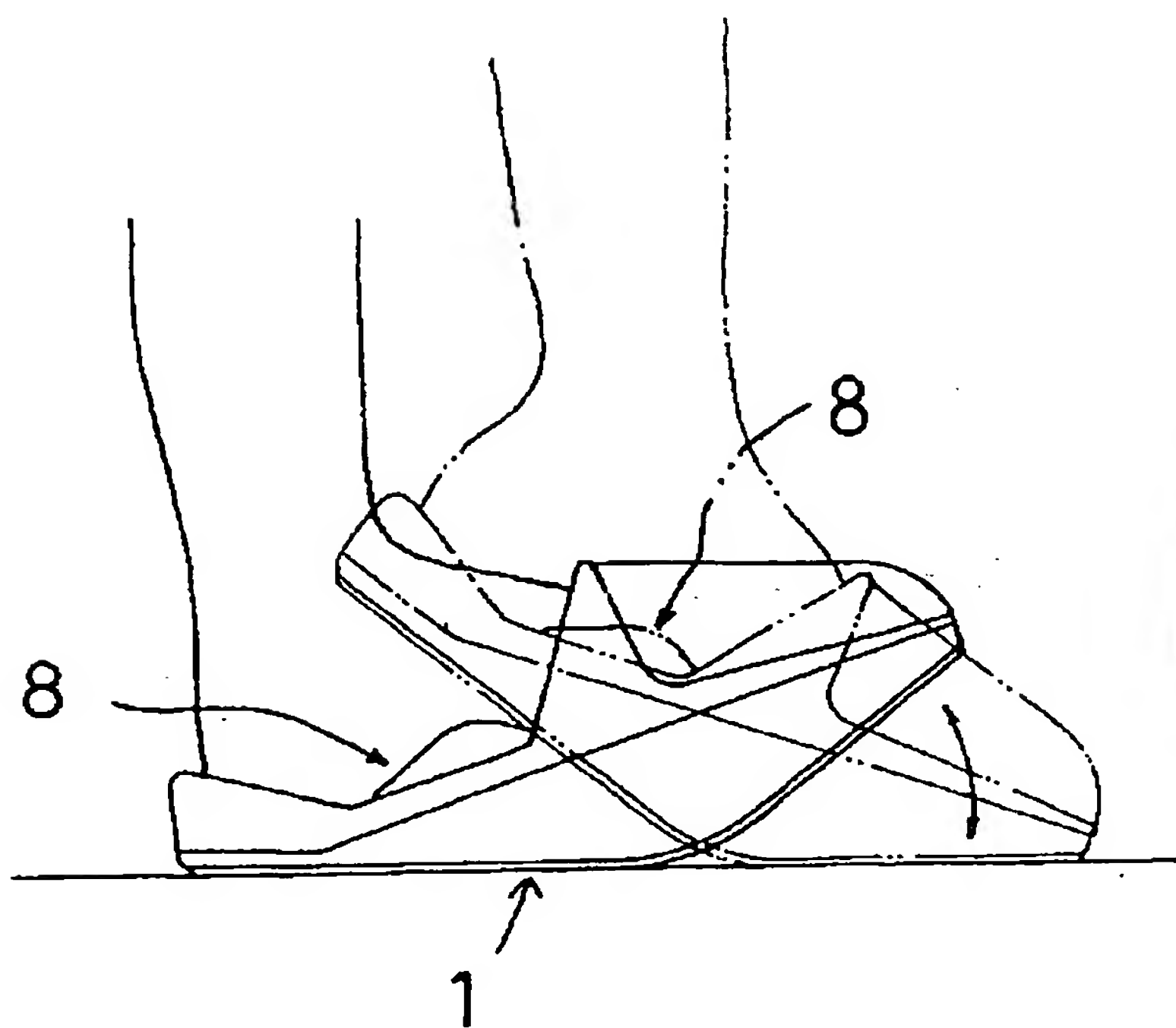
第 2 図



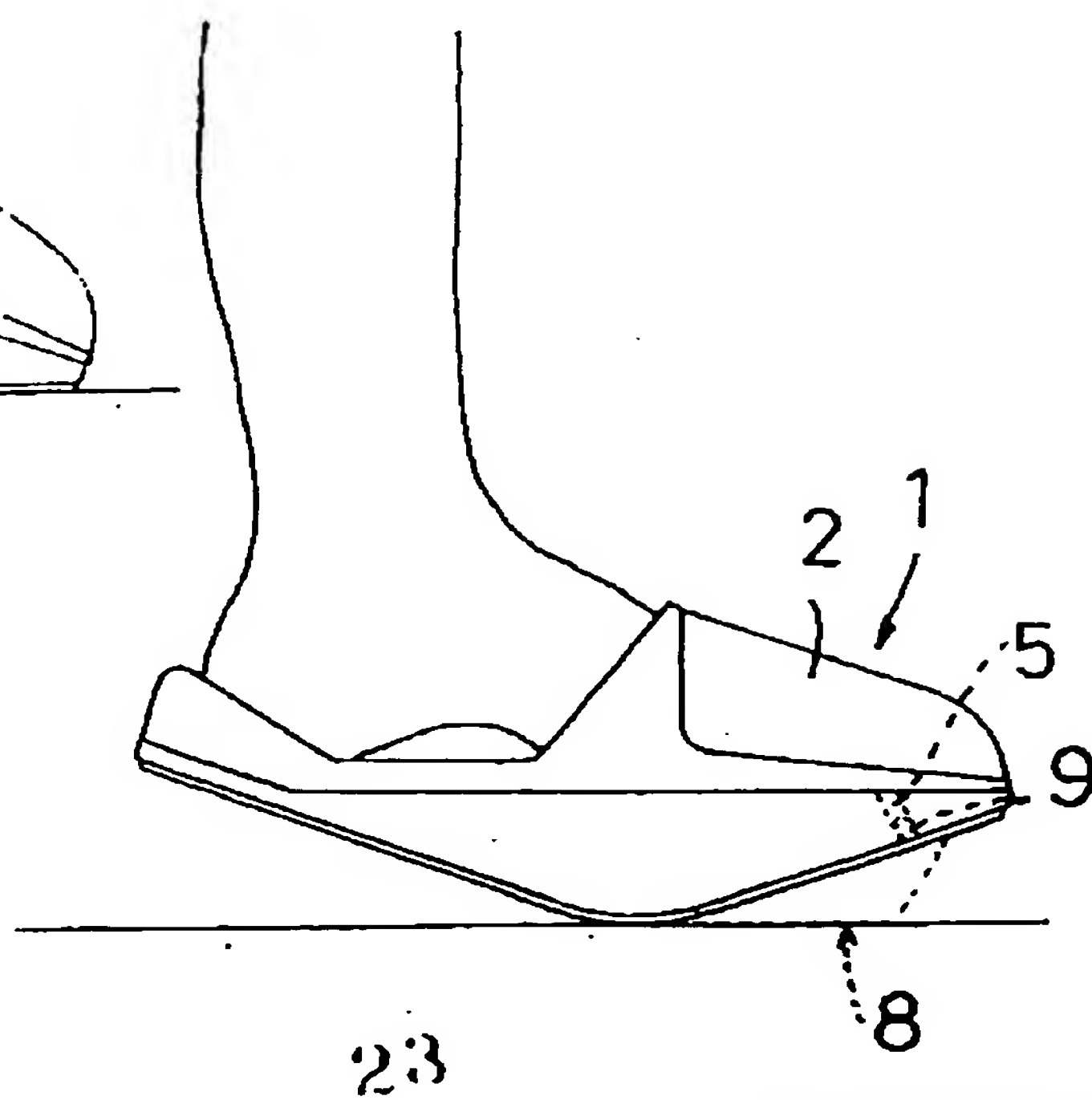
第 3 圖



第 4 圖



第 5 圖



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: \_\_\_\_\_**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**